

この度は、弘済会大阪支部の奨励金事業にご応募いただき、ありがとうございます。
実施団体として、以下の12団体が選定されました。

2023年度「奨励金事業」実施団体

	申請団体・申請者	テーマ	助成額
1	桂中学校区 地域教育協議会 事務局長 岡 知彦	コロナ禍で制限されてきた様々な地域行事を再スタートし、学校・家庭・地域の総合的な教育力の再構築を図り、地域社会あげてよりよい教育づくりを促進し、自立・自己実現・豊かな人間関係づくりなど子どもに生きる力を育む。	20万円
2	岸和田市立北中学校 校長 松下 孝徳	生徒の自己肯定感・自己有用感の低さが、各調査から顕著である。それらを高めるために生徒会活動などを通じて以下の3つ取り組みを行う。 ①kitastagram ②SDGs活動 ③地域緑化・清掃活動	7万円
3	「障害」児・者の生活と 進路を考える会 代表 鈴木 留美子	「ともに学び、ともに育つ」教育推進のため、講演会や学習会を開く。	20万円
4	高槻市立榎田小学校 教諭 池田 拓真	伝統芸能である篠笛の演奏指導を篠笛演奏者より受ける。また、篠笛の製作者を招聘し、世界に一つだけの篠笛を作成する。その篠笛を使用し、中学校区の文化イベントや地域の障がい者施設や高齢者施設で演奏をする。	10万円
5	和泉市立国府小学校 校長 石村 和彦	児童が地域の課題（商店街の活性化）に主体的に取り組み、情報を活用し、地域の方と対話・協働しながら商品開発や販売を行う過程を通して、変化の激しい時代を生き抜き豊かな人生を切り開く資質・能力を身につける。	17万円
6	大阪市立東住吉中学校 校長 松井 宏之	不登校・不登校傾向に陥る生徒の未然防止、登校状況の改善を目指して、学校と地域子育て支援事業活動「てらこや」が連携した子どもが輝く居場所づくり。	8万円
7	ふれ愛会議 議長 岡本 昌也	地域行事「ふれ愛夏祭り」の事業推進 本小学校区の子どもたちと地域住民とのふれあいの場の創出を目的として開催されてきた地域業を安全・安心に実施するため。	5万円
8	富田林市立金剛中学校 首席 武田 純子	「誰ひとり取り残さない」金剛地区の住民交流拠点（兼こども食堂）で中学生が出店している「チャリティショップ」の売上で、アフリカ・ケニア・キベラスラムのマゴスクールへ給食支援を始めて1年。この取り組みを持続可能なものに。	11万円
9	高槻市立北日吉台小 内藤 嘉則	社会教育施設（公民館）と連携した学校と地域の在り方 ～中学校区でのコミュニティ・スクールの推進に向けての、学校と特色をいかしたキャリア教育～	5万円
10	河内長野市立東中学校 校長 内本 年昭	学校と公民館が連携した取り組みを進めることで、生徒たちは地域住民との交流を通じて“地域への愛着”を高め、周囲の人や自然、地域の物を大切に、自己肯定感や自己有用感を高めていく。	14万円
11	大阪府立堺工科高等学校 定時制 保田 光徳	本校は、伝統地場産業を学ぶ「堺学」という授業で包丁と選考を製作して、地域連携活動をおこなっている。東日本大震災以来「復興支援プロジェクト」を立ち上げて、地域とともに、被災地支援活動を続けている。	20万円
12	岸和田市立光明小学校 岩本 浩平	ゴミ”0”作戦 ゴミのないきれいなふるさとを未来に残そう。ゴミゼロ作戦、光明小学校・2023。 児童会・PTA・市民協で学校環境美化及び、地域環境整備活動に取り組む。	10万円

選定された団体で申請の際の助成金額が減額になっている団体は、お手数ですが、決定した助成額で申請書にある費目別内訳を変更し、メールに添付して送信してください。

申請書再提出のメールアドレス m.todo@kyoukou.or.jp

選定された団体は、贈呈日の日程調整のため、下記のアドレスまたはQRコードからフォームに入り、必要事項を入力して送信してください。

<https://form.run/@2023syourei-nitiji>

